

特集

封筒キャンペーン



記事

封筒キャンペーン

最近の紙の出荷量推移

紙の発明

封筒キャンペーン

暦の上では春ですが、真冬の寒さが続いています。いかがお過ごしでしょうか。

今年は、インフルエンザが大流行しています。そして暖かくなってくると、花粉症の季節になってきます。そんななか、風邪やインフルエンザの予防、花粉症など症状の緩和にかなり効果があるといわれている『鼻うがい』が流行りつつあるそうです。

『鼻うがい』は、鼻の奥深くに入り込んだ雑菌や花粉などを洗い流して取り除くことができます。

『鼻うがい』のやり方

ぬるま湯(体温と同じくらいの 37) 100cc に天然塩(食塩よりいいそうです)1g をよく溶かします。そして、鼻の片方を指で押さえてもう片方から塩水を吸い込みます。吸い込んだ塩水は、口から出します。口から出せない場合は鼻から戻してもいいようです。そして、残りのもう片方も同じように吸い込み、口から出します。



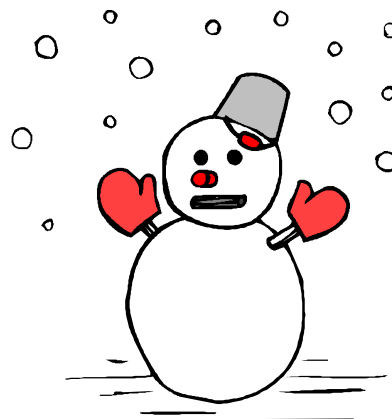
人体の生理的食塩濃度が 0.9% ということで、それに近い濃度の塩水を使うことでうがいがやりやすくなります。塩の入っていない水では、鼻への刺激があってやりづらいようです。

『鼻うがい』したあとは鼻の中に塩水が残ってしまいがちですが、鼻をかむと耳のほうに塩水がいきまいて中耳炎などになってしまうことがあります。絶対に鼻はかまずに、頭を前に下げて左右に顔を傾けると鼻から塩水が自然に垂れてきます。それをティッシュなどでふき取るといいようです。

『鼻うがい』をやる時間はいつでも大丈夫です。毎日、2~3回やる方もいるようです。

最初は、少し抵抗があるかもしれませんが慣れれば、簡単にできるようになるそうです。もし、よかったら試してみたいでしょうか。

さて、当社では今月より4月までの3ヶ月間、封筒のキャンペーンを実施しています。封筒は、2~3月が年間でもっとも見積りなどの引合いが多い時期です。別製封筒や既製封筒のデータやフィルムをお預かりしての印刷もできますのでお気軽にお問い合わせください。よろしくお願い致します。



スギウラ株式会社
営業一部
〒370-0006
高崎市問屋町 2-2-8

電話番号
代 表
027-361-5808
営業一部
027-361-5734

Fax
027-361-1272

当社 Web サイト
www.kamisugiura.co.jp



お気付きの点や質問、
疑問などありましたら、
ご遠慮なく営業または、
下記までお問合せくだ
さい。

お問合せ
メールアドレス
sg-takahashi-t
@kamisugiura.co.jp

最近の紙の出荷量推移

昨年の6月以降の紙の出荷量は、対前年比で大幅に下回っています。しかし、秋以降さらに出荷量は激減しています。

東京洋紙同業会の数字では印刷用紙A(おもに上質)は、昨年6~10月は対前年比80%前後で推移していましたが11~12月は対前年比80%を割り込んでいます。A2コートは6~9月は90%前後でしたが10~12月80%台前半、A3コートにいたっては、6月以降70%台だったものが12月には70%

切ってしまいました。

製紙メーカーでは王子製紙を始め各社、在庫過剰による大規模な減産をおこなっています。減産によりだいぶ在庫調整が進んでいるようですが、今だに在庫過剰は完全に解消していません。しかも、減産による特定規格の在庫不足など、2~4月の需要期に心配な要因もあります。紙の需給バランスの改善には、もう少し時間がかかるようです。

紙の発明

われわれ人類は、文字や絵を描くようになってから紙が発明されるまでいろいろなものを使って記録していました。石、動物の骨、樹皮、メソポタミア文明では粘土板、古代エジプトではパピルス、ギリシャでは羊の皮を使った羊皮紙(パーチメント)と呼ばれるものを使ったり、中国では木や竹の札をつなぎ合わせた木簡・竹簡などいろいろなものを使ってきました。

紙は英語で paper です。有名な話ですが paper の語源は papyrus(パピルス)です。パピルスは紀元前2500年ごろからエジプトで使用されていました。しかし、厳密にはパピルスは紙ではありません。パピルスは茎を裂いて縦横に重ね合わせ圧力をかけ脱水乾燥させたものです。

紙は一般的な定義では植物の繊維を水に分散させ脱水、乾燥の工程で繊維を絡み合わせてシート状にしたものです。

紙は、西暦105年に後漢の宦官蔡倫が発明したとされることが多いようです。しかし、105年以前に紙についての文献が発見されているようで、矛盾があります。今では蔡倫は

製紙技術を改良して『蔡侯紙』という紙を作った人物という見方が多いようです。

実際には紙が発明されたのは諸説ありますが、今では前漢(紀元前206~後8年)の時代に発明されたという説の支持者が多いそうです。

前漢の時代には、絹を紙として書写に使用していました。その後、古真綿を何度も棒で叩いたり洗ったりして、薄いシート状にしたものが作られるようになり、材料を麻にして同じような工程で作られました。

最初、絹という動物繊維を織る作業から、動物繊維を漉く、そして植物繊維である麻を漉いて現在の紙の元ができたと考えられています。

ちなみに紙は、木版印刷、羅針盤、火薬と合わせて中国の四大発明の一つです。

日本には、3~5世紀ごろ朝鮮半島を経由して紙が伝わりました。610年には推古天皇が高句麗から僧・曇徴(どんちょう)を招き製紙の新技術を習ったそうです。